

料金別納郵便



高橋奈己 葉月の白磁展

令和4年8月5日(金)~11日(木) 会期中無休

開廊時間：午前11時~午後7時(最終日11日は午後5時まで)

作家在廊日：会期中、全日在廊予定

白磁の果肉

この数年間、高橋奈己さんが言葉の端々に焼締陶への関心を含ませてきたことが印象に残っています。最近の作風の展開をみるに、焼締めの有する美質は、実は作家が、常に自作と結びつけながら咀嚼し、向き合い続けてきた核心と言えるのかもしれません。

凛としながらも、胎土が内側から呼吸しているようなゆとりをそなえた白磁。グリーツで構成されたかたちは、映し出される光と影の濃淡により表情が変化します。真珠やプラチナ釉を用いた作品は光沢を質感としてみせます。一方、粗めの土で成形した作品では、作家が沁み込んでイタリアで制作したテラコッタの記憶を辿るように、やきものにおける表情のまだらさを追求しています。

高橋さんにとって造形の着想源でもある果実は、甘美で瑞々しく、時に周囲を刺激しながら、熟していきます。曇りのない白の作品世界を支えてきた内奥がいま、じわりと滲み始めています。

川北裕子(パナソニック汐留美術館 学芸員)

陶歴 平成 9 年 武蔵野美術大学 短期学部 専攻科陶磁コース 卒業
平成 9~11 年 ファエンツァ国立陶芸美術学校 在籍 (イタリア)
平成 28 年 日本伝統工芸展新人賞、女流陶芸展 T 氏賞
平成 29 年 日本陶芸展 茨城県陶芸美術館賞
平成 30 年 現代茶陶展 TOKI 織部大賞
令和 元年 岡田文化財団設立 40 周年記念 第 14 回パラミタ陶芸大賞展
「近代工芸と茶の湯のうつわー四季のしつらいー」国立工芸館
令和 3 年 「未来へつなぐ陶芸ー伝統工芸のチカラ 展」パナソニック汐留美術館 (全国巡回中)
令和 4 年 「The Fourth Dimension うつわの未来へ」益子陶芸美術館

柿付ギャラリー
KAKIDEN GALLERY

160-0022 東京都新宿区新宿 3-37-11 安与ビル B2 階
03-3352-5118 gallery@kakiden.com

公式 Instagram



コロナ禍の影響で、会期と作家在廊日等の変更や、オンライン展示のみの可能性もございます。
お手間で恐縮ですが、弊廊ホームページや公式SNSにて、最新情報をご確認頂ければ助かります。

